

木材製品の「見える化」に対応するための今後の進め方(案)

平成20年度(フェーズ1)

検討会の開催

- 木材利用の「見える化」を行うにあたっての意義や目的を確認するとともに、どのような「見える化」の方法が考えられるかを検討。
- 「見える化」の導入にあたっての課題(必要とするデータの収集方法等)の整理。
- 「見える化」を普及するための手法の検討。

平成21年度(フェーズ2)

調査並びに
マニュアルの整備

- 木材製品(製材品、集成材、合板等)に関するLCA評価を中心とした調査の実施。
- 企業等がLCA評価をはじめとした「見える化」に取り組むためのマニュアル/ガイドラインの整備。

平成22年度以降(フェーズ3)

企業等への普及

- 企業等に対して「見える化」がビジネスチャンスに繋がること等について、木づかい運動の一環として普及。